

CAカウンター

A システム パラメータ 変更時の注意事項

- 1 パラメータ 書き込み用プロテクトSWをOFFにして下さい。
- 2 システムパラメータを変更して下さい。(取扱説明書のパラメータ変更手順を参照)
- 3 システムパラメータ変更後、必ず次の事を実行して下さい。

M 9 0 1 ENTR ENTR

- 4 パラメータ 書き込み用プロテクトSWをONにして下さい。

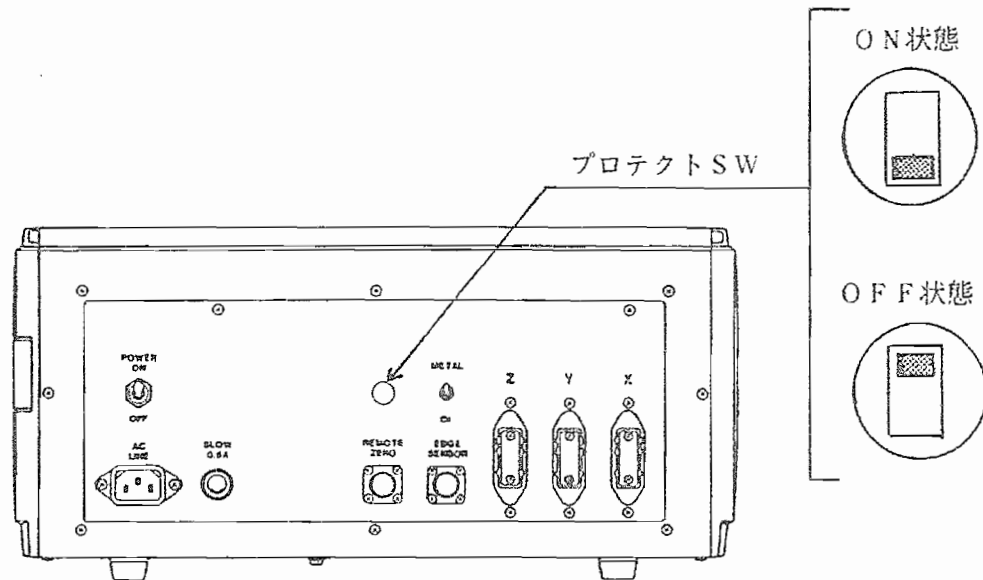
B 標準パラメータの書き込み〔*パラメータが破壊された場合に使用して下さい。〕

- 1 パラメータ 書き込み用プロテクトSWをOFFにして下さい。
- 2 下記の操作を行って下さい。

M 7 0 1 ENTR ENTR

又は、"M"キーを押しながら電源を入れて下さい。
(標準パラメータ表にあるデータが書き込まれます。この時、メモリデータ、オペレーションデータ、ワーク原点シフトデータが消去されます。)

- 3 システムパラメータ変更後、必ずAの3項を実行して下さい。
- 4 パラメータ 書き込み用プロテクトSWをONにして下さい。



302のbit7が1だと初期表示が
INCHになる

Page 3

システムパラメータ一覧表

システム名: (C J カウンター)

番号	標準設定	単位	備考
301	00000010	ビット	スケール分解能 0000 1 μ m 0001 2 μ m
302	00000000	〃	電源投入時のモード 0010 5 μ m
303	0000①000	〃	スケール読取り極性 0011 設定禁止 0100 25 μ m
304	(0)	〃	未使用 0101 50 μ m
305	000000①1	〃	スムージング機能, 芯出し演算結果の処理
306	(0)	〃	未使用
307	(0)	〃	未使用
308	(0)	〃	未使用
309	00000011	〃	リモートゼロ, アブソリュートでのプリセット
310	(0)	〃	未使用
311	(0)	〃	未使用
312	(0)	〃	未使用
313	(0)	〃	未使用
314	(0)	〃	未使用
315	00001000	〃	RS-232C 通信速度
316	00101110	〃	RS-232C 通信フォーマット
317	00000000	〃	インターフェイス仕様時のオプション設定
318	(0)	〃	未使用
319	(0)	〃	未使用
320	(0)	〃	未使用
321	00000000	mm	アブソリュート原点シフト量
322	(0)	〃	未使用
323	(0)	〃	未使用
324	00100000	〃	正方向ソフトリミット値
325	-00100000	〃	負方向ソフトリミット値
326	(0)	〃	未使用
327	(0)	〃	未使用
328	(0)	〃	未使用
329	(0)	〃	未使用

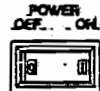
パラメーター変更手順

操作 ----- 表示窓 -----

(アブソリュート原点シフト量: X(Y)軸を -12mmしたい時)

R/D キーを、押しながら電源を入れる。

初期設定



電源ON

SP301

"SP"点滅

3 2 1

SP321

パラメーター
NO. 設定

ENTR

SP321



表示モード
切り替え

0.000

データ表示

データ変更 **X** (**Y**) 軸選択

0.000

←マーク点滅

1 2 ENTR

12.000

←マーク消燈



表示モード
切り替え

SP321

変更データ
書き込み

9 0 1 ENTR

F_n901

ENTR

PAS-1

ブザーON!

7. アラーム表示

C J カウンターにアラームが発生した時に、C J カウンターの各座標軸にエラーNO.が表示されブザーが鳴ります。

Err06: バッテリ電圧低下
電池を交換してください

イ) S Error:(軸表示)

いずれかの軸にスケールエラーが発生、エラーの発生した軸に

“S Error”と表示

ロ) 2 7 Error:(軸表示)

オーバートラベルが発生。

これは原点検出後監視するアラームでスケール原点からのプラス方向
マイナス方向のストロークリミット(パラメーターNO. 3 2 4, 3 2 5
設定)を超えた時に発生します。

ハ) Err 4 2:(軸表示)

パラメーターが消えた時に発生します。

これは電源投入時のみ監視します。標準パラメーターの書き込みを行う
と解除されます。

ニ) Err 8 4:(軸表示)

パラメーター書き込みが禁止されている状態で書き込もうとした時に
発生します。

パラメーター書き込み時(3 0 1 ~ 3 9 9, 7 0 1, 9 0 1)には
カウンター背面のプロテクト スイッチをOFFにして書き込んで下さい。